



## 図書館の資料を幅広く利用しましょう

**Q**：図書館は研究・教育のために存在していることは、良く分かっています。一方、就職活動で、時事問題も興味があります。時事的なことについて、図書や雑誌、新聞の利用法を説明してください。

**A**：まず、新聞について。図書館本館、分館、第4閲覧室、第5閲覧室には、国内外の新聞を置いています。昔の新聞は縮刷版として大正期から所蔵している新聞もあります。また、新聞のデータベースへは、次のようにして接続できます。図書館HPの「外部データベース」→「朝日新聞 聞蔵ビジュアル・フォーライブラリー」、「読売新聞コミダス歴史館」、更に、英文では「EBSCOHost」に接続できます。(学内端末のみ)

次は、雑誌について。図書館では、多くの国内外の雑誌を購入し、閲覧室の雑誌コーナーに最新号を置いています。バックナンバーはカウンターに問い合わせてください。雑誌の記事を検索したいときは、次のようにしてください。図書館HPの「外部データベース」→「日外Web Service MAGAZINEPLUS」、「GeNii→CiNii」、「EBSCOHost」等。

**Q**：学生時代に語学関係以外の図書も読んで、幅広い教養を身につけたいと思います。すべての分野を効率的に読むのに、図書館所蔵本の全体像を知りたいのですが、それはどのようにしたら分かるのですか。

**A**：図書館では語学関係のものは専門書を多く揃え、その他の分野も幅広く収集しています。図書館の本の配架は図書のラベルの順です。ラベルの数字は日本十進分類法によっています。(洋書はデュエイ十進分類法) 次の様に大別し、さらに細分化しています。

0 (総記) 1 (哲学) 2 (歴史) 3 (社会科学) 4 (自然科学) 5 (技術・工学・工業) 6 (産業) 7 (芸術) 8 (言語) 9 (文学)。蔵書検索はキーワードだけではなく、必ず分類番号からも探してみましょう。

**Q**：図書館のいろいろな点について知りたく思います。まず、図書館のコレクションについて説明してください。

**A**：コレクションには、HPからアクセスしますが、二通りの方法があります。①は「本学図書館の蔵書詳細検索」の「特殊区分」を開く場合で、多くは、それぞれコレクションごとに分類順に配架されています。②はHP下段の「本学図書館が作成したすべての主題別書誌データベース」を開く場合で、語学、文学、地域研究など調べたいテーマに多角的にアクセスできます。

**Q**：そのようにしてHPから探した図書が所定の場所がないときはどうしたらいいのでしょうか。

**A**：資料請求用紙に必要事項を記入して、カウンターにお問い合わせください。確認します。

**Q**：時事問題などは、出版年も考慮する必要がありますね。検索結果の出力は出年順の新しい順ですか。

**A**：そうです。資料IDの数字が大きいかほど受入された時期が最近です。ちょっと本を選ぶときの参考にしてください。